

「今、何の病気が流行しているか！」

(川崎市感染症発生動向調査事業—令和4年第42週)の情報提供について

市内の定点医療機関から提供された感染症の患者発生情報をもとに市民提供情報である「今、何の病気が流行しているか！（令和4年第42週）」を作成しましたのでお知らせします。

令和4年第42週（令和4年10月17日から令和4年10月23日まで）

第42週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）感染性胃腸炎 2）手足口病 3）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.61人と前週（2.44人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

手足口病の定点当たり患者報告数は1.47人と前週（1.22人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は1.17人と前週（0.47人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

今週のトピックス

“オミクロン株B A. 4-5に対応したワクチンの接種を開始”について取り上げました。

新型コロナウイルスは、様々な変異株が確認されており、現在はオミクロン株が流行の主流です。さらに、オミクロン株の中にもB A. 1からB A. 5までの亜系統があり、現在、川崎市内ではB A. 5による感染が中心です。

当初は、中国で流行した従来株に対応するワクチンを使用していましたが、流行状況に合わせてオミクロン株B A. 1やB A. 4-5に対応したワクチンも開発されました。川崎市では、従来型ワクチンの2回接種を終えた方を対象に、流行株であるB A. 4-5に対応した新たなワクチンの接種を、令和4年10月24日から開始しました。オミクロン株の系統にかかわらず、オミクロン株の成分を含むことで、従来型ワクチンを上回る効果が期待されています。接種可能なワクチンは、年齢や接種回数により異なりますので御注意ください。

川崎市感染症発生動向調査事業では、感染症のまん延の防止と市民の健康の保持に寄与するべく、市内の定点医療機関（小児科定点37施設、インフルエンザ定点61施設、眼科定点9施設、基幹定点2施設）等から報告された感染症発生状況をもとに集計を行い、市内の感染症の発生状況の正確な把握と分析、市民や医療関係者への情報の提供を行っています。

連絡先 川崎市健康福祉局保健医療政策部感染症対策担当 野木
電話044（200）2446
川崎市健康安全研究所 三崎
電話044（276）8250

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

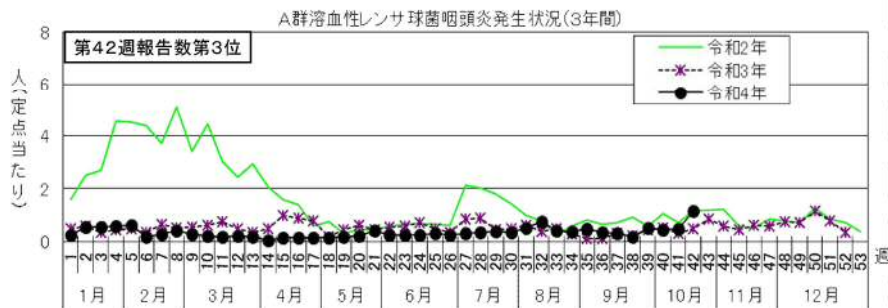
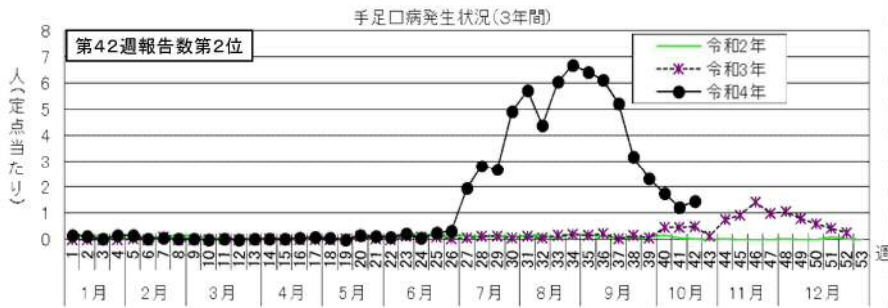
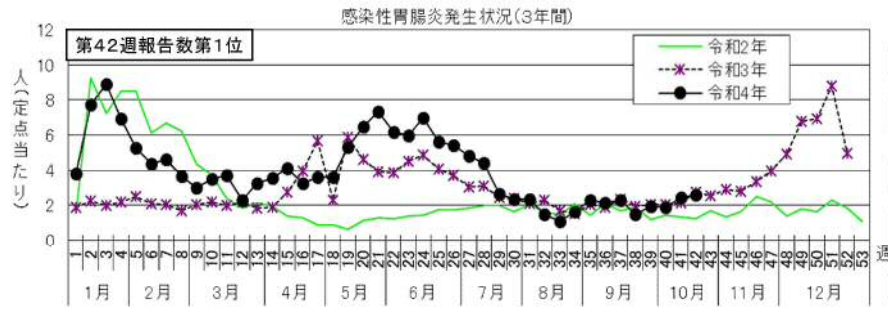
令和4年10月17日（月）～令和4年10月23日（日）〔令和4年第42週〕の感染症発生状況

第42週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 手足口病 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.61人と前週（2.44人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

手足口病の定点当たり患者報告数は1.47人と前週（1.22人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は1.17人と前週（0.47人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

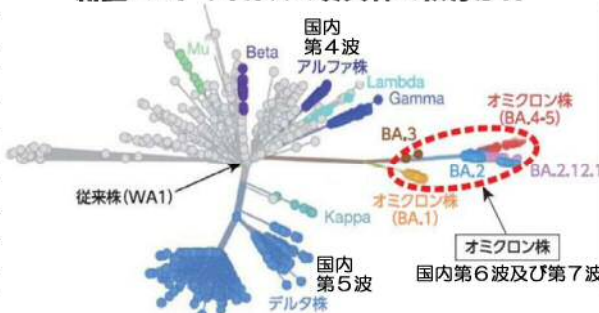


オミクロン株BA.4-5に対応したワクチンの接種を開始

新型コロナウイルスは、様々な変異株が確認されており、現在はオミクロン株が流行の主流です。さらに、オミクロン株の中にもBA.1からBA.5までの亜系統があり、現在、川崎市内ではBA.5による感染が中心です。

当初は、中国で流行した従来株に対応するワクチンを使用していましたが、流行状況に合わせてオミクロン株BA.1やBA.4-5に対応したワクチンも開発されました。川崎市では、従来型ワクチンの2回接種を終えた方を対象に、流行株であるBA.4-5に対応した新たなワクチンの接種を、令和4年10月24日から開始しました。オミクロン株の系統にかかわらず、オミクロン株の成分を含むことで、従来型ワクチンを上回る効果が期待されています。接種可能なワクチンは、年齢や接種回数により異なりますので御注意ください。

新型コロナウイルスの変異株の枝分かれ



オミクロン株対応ワクチン接種対象者※

年齢	従来型ワクチン接種歴	接種対象者※
18歳以上	2回以上接種済み	BA.1対応型 若しくは BA.4-5対応型 接種対象者※※
12～17歳	2回又は3回接種済み	BA.1対応型 若しくは BA.4-5対応型 接種対象者※※

※従来型2回未接種の方及び12歳未満の方は接種対象外

※※オミクロン株対応ワクチンは種類を問わず1人1回接種可能

詳細については、川崎市のホームページをご覧ください。

厚生労働省 第102回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード資料より作成